



町の61%が
交通不便
地域に指定

地域の公共交通等の現況・課題

当町は、埼玉県の最北端に位置しており、広域交通網である関越自動車道、JR高崎線、上越新幹線、国道17号が町内を横断している。鉄道駅や民間バス路線がカバーしている地域は、JR高崎線神保原駅の1km圏域と県道22号線を運行している路線バスのバス停1km圏域であり、本町の約61%が交通不便地域となっている。自動車運転免許及び自家用車の保有率は90%近くあり、自家用車への依存度が高い傾向にある。このような中、高齢者や障害者等の交通制約者の日常の買い物、通院等の移動手段の確保が課題となっている。

交通計画の基本的な方針／定性的な目標

【計画の基本方針】

「上里町地域公共交通網形成計画」に基づき、町内公共交通ネットワークを充実させることで交通不便地域を解消する。また、町民の誰もが利用しやすい公共交通を構築することを目的とし、地域公共交通確保維持改善事業に取り組む。

【目標】

- ①年間利用者数：19,300人
- ②高齢者無料パスの発行件数：83人

目標を達成するために行う事業の今年度実施状況

【実績】

- ①年間利用者数：14,489人
- ②高齢者無料パスの発行件数：117

【実施状況】

埼玉県内の免許証返納年齢が低くなっているが、上里町においては、県平均に届いていないため、高齢者が免許証の返納をしやすい環境を整備することで、交通事故を未然に防ぐとともに、高齢者へのコミュニティバスの利用促進となるよう、交付対象者要件を変更した結果、高齢者無料パス発行件数が増加した。

また、持続可能な公共交通を実現するため、財源の確保を目的とした、コミュにティバス車内への有料広告掲載の募集を開始した。バス停留所付近の大型商業施設等へは個別訪問をし、有料広告掲載の依頼を実施した。

アピールポイント

公共交通への転換のハードルを低くし、高齢者の方が公共交通の利用を意識するきっかけを提供するため、交通安全講習会を受講する意思のある70歳以上の方へ、「こむぎっち号高齢者無料パス」を交付している。

また、公共交通網の利便性を向上させ、持続可能な地域公共交通を実現させるため、更なる利便性向上のための取組み、駅を中心としたまちづくりと連携し「コンパクト・プラス・ネットワーク」の実現に向け、次期公共交通の運行形態についても検討していく。

面積	29.18 km ²
人口 (R4.4.1時点)	30,627 人
15歳未満	3,496 人
65歳以上	8,718 人
高齢化率	28.5 %

交通計画の計画期間

令和2年度～令和11年度(長期計画)
令和2年度～令和6年度(短期計画)

協議会開催状況

◆協議会の開催状況 3回開催◆

- ◎令和3年度第3回(令和3年11月1日)
 - ・地域公共交通網形成の変更について
- ◎令和3年度第4回(令和4年1月20日)
 - ・事業評価について
- ◎令和4年度第1回(令和4年6月20日)
 - ・地域公共交通網形成計画の達成状況の評価について
 - ・交通不便地域指定について
 - ・生活交通確保維持改善計画について
 - ・バス停の移設について
 - ・高齢者無料パス交付事業の交付対象者の拡充について

○参考資料として以下の資料を添付

別添①-1 上里町公共交通路線図(コミュニティバスパンフレットより)

- ・地域の公共交通体系図(鉄道、民間路線バス、コミバス 等)
- ・補助対象事業の運行系統図・区域図

別添② コミュニティバス利用状況(令和3年10月～令和4年9月)

- ・補助対象事業の実績データ(利用者数、収支 等)